

# 微細藻類の大量増殖培養に向けた装置技術・環境制御

★室内・野外の培養技術、装置設計、環境制御など、低コスト大量生産に直結するノウハウを凝縮！

【LIVE配信】【アーカイブ配信】 [セミナーURLはこちら→https://www.rdsc.co.jp/seminar/2607117](https://www.rdsc.co.jp/seminar/2607117)

1名分料金で  
2人目無料

- ◆日時：2026年07月10日（金）10:30～16:30
- ◆アーカイブ配信：7/13（月）～7/27（月）何度でも受講可能
- ◆受講料：1名につき55,000円（税込、資料付）

会員（案内）登録していただいた場合、通常1名様申込で55,000円（税込）から  
 ・1名で申込の場合、**49,500円（税込）**へ割引になります。  
 ・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計55,000円（2人目無料）**です。

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

**【講師】** (株) Seed Bank 研究員 **増田 篤稔**  
（ご専門）水産学（微細藻類大量培養システム、陸上養殖定量設計などの数量解析）  
 （ご略歴）玉川大学 農学部 先端食農学科 教授、ヤンマー株式会社（主席研究員、部長）

**【習得できる知識】**  
 微細藻類の大量培養に関する基礎的知見と設計実例が学べます。

**【講演の趣旨】** 微細藻類は、培養条件により他の植物には無い光合成能力を持っている。このため、基礎研究からバイオマスエネルギー利用研究まで行われている。また、食品添加剤や化粧品などにも産業利用がなされている。産業化を行うためには、低コストで安定的な生産技術が求められる。低コスト生産における、大量培養システム開発と受光量解析などの解説と留意点を述べる。室内における小規模の培養は、特殊な微細藻類を除いては、ほぼ培養手法は決まっている。しかし、室内に置いて効率よく培養するためには、微細藻類の特性および培養装置の工学的な設計および知見は欠かせない。本セミナーでは、設計の方法論をわかり解説を行う。また、微細藻類関連の事業開発では、有用物質を生産する種の探査やその大量培養に関するエンジニアリングおよび有用物質生産プロセスなどの技術開発で経済性検討が不可欠になる。低コスト化において基礎となる大量培養の室内大型フォトバイオリアクターや、光合成・光環境・二酸化炭素要求・培養容器形状の観点より、研究開発事例をもとに解説する。さらに、低コスト生産に欠かせない野外培養技術についても演者の最新の研究事例の一部を紹介し、今後の野外培養の方向性に関してコメントする。

1. 微細藻類と大量培養と装置技術・環境制御
  - 1-1. フォトバイオリアクターに求められるもの
  - 1-2. 光環境と培養容器
  - 1-3. 光環境と二酸化炭素に関する定量方法
  - 1-4. 室内大量培養における留意点
  - 1-5. 微細藻類培養槽の性能評価検討
  - 1-6. コンタミ防止への考え方について
2. 低コスト微細藻類生産の必要性とその方策
  - 2-1. 低コスト化の必要性
  - 2-2. 低コスト化に向けた藻種選定
  - 2-3. 低コスト化に向けた培養装置選定・設計
  - 2-4. 室内での微細藻類における低コスト化の方策
  - 2-5. 屋外培養における低コスト化の目算
3. 微細藻類の貝類餌料の応用展開
  - 3-1. 貝類資源の動向と資源保護に必要な餌料
  - 3-2. 貝類総生産量
  - 3-3. 二枚貝類修行生産における餌料生産システム
4. 有用化学素材の探査と有用利用法有
  - 4-1. 天然由来の医薬原料
  - 4-2. 渦鞭毛藻の大量培養
  - 4-3. バイオマス燃料
5. 室内から屋外へ、研究課題
  - 5-1. 室内向けの種と野外培養向けの種と、その特性
  - 5-2. 野外培養の太陽光利用の考え方
  - 5-3. 野外培養における簡易評価方法
  - 5-4. 野外培養における培養収率向上の方策
  - 5-5. 野外培養における課題
  - 5-6. スケールアップの考え方・条件適正化
  - 5-7. 今後の野外培養の制御方法などの方向性
6. 質疑応答

『微細藻類』セミナー申込書 FAX:03-5857-4812 ※ご希望の参加形式にチェック下さい⇒  LIVE /  アーカイブ

|       |   |     |  |
|-------|---|-----|--|
| 会社・大学 |   |     |  |
| 住所    | 〒 |     |  |
| 電話番号  |   | FAX |  |

| お名前 | 所属・役職 | E-Mail |
|-----|-------|--------|
| ①   |       |        |
| ②   |       |        |

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。  Eメール  郵送

● **セミナーの受講申込みについて** ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>



株式会社 R & D 支援センター

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル7階  
 TEL) 03-5857-4811 FAX) 03-5857-4812 URL) <https://www.rdsc.co.jp/>